

# TOTONOE ~ととのえ~

お答え / します

ネクストスキンケアクリニック・美容皮膚科

院長 小川真有美 さん

## PROFILE

新潟市出身。北里大学医学部卒。医学博士。西区・皮膚科まるやまクリニックなどを経て、2017年より現職。「医学的根拠に基づいた治療で肌は変わる、肌が変わると気持ちも変わる」と日々、診療にあたっている。



## PICK UP 肌の印象をアップする～美容皮膚科の施術と効果～

### 肌のケアは何歳から始めても遅いということはありません



イラスト/natsu(イラストレーター・デザイナー)

にいがた  
HIGATA GENKI PLUS  
元気+

「にいがた元気プラス」は健康寿命日本一を目指し、県民の健康づくりを応援する、新潟日報社のプロジェクトです。

「TOTONOE～ととのえ～」は女性と子どもの心と体の健康に関する悩みについて、4人の医師が解説します。

美容治療というのは外科的治療と皮膚科的治療に大別されますが、美容外科は二重まぶたにする、鼻を高くするなど手術による治療がメイン。一方、今回のテーマである美容皮膚科では飲み薬、塗り薬、光やレーザーなどを当てる機器治療が三本柱です。手術のような即時的な効果はありませんが、少しずつ変化を重ねて肌の状態を良くしていきます。専門クリニックでは診察・カウンセリングを経て、その人に合った治療法を選んでいくので安心ですし、医学的な根拠がある治療によって肌の変化を実感いただけると思います。口コミやSNSなど情報があふれる世の中で、自己流のケアによって肌の状態が悪化している方もいらっしゃいます。例えばシミにも種類があり、アプローチを間違えると逆に濃くなることもあるので専門知識は重要です。

多いお悩みはシミ、シワ、たるみ、ニキビ、毛穴など。シミよりもシワを改善した方が若々しく見え

たり、薄いシミがあっても肌全体が滑らかで明るくなればガラッと印象が変わったりと、効果の出し方のポイントもいろいろ。症状がひどくなる前にできるだけ早めに治療を始めることが大切です。

頻繁な通院が必要と思っている方も多いのですが、実は1年に1回でも機器治療を受けることで肌の老化を遅らせる効果があります。予算的に難しければ塗り薬での治療があり、少し時間はかかりますが驚くほどきれいになる方もいらっしゃいます。定期的に通うことで肌への意識が変わりますし、ケアの正しい知識も得られるので、相乗効果で整っていきますね。「この年齢からでも大丈夫ですか」とおっしゃる方もいますが、肌は日々生まれ変わっているのです。年齢を重ねてそのスピードはゆっくりになっても、続けることで必ず結果は出ます。当院の患者さまの最高齢は89歳。皆さんととてもすてきで私たちもパワーを頂いています。